

## 歴史から読み取れる和菓子の将来性に関する研究

1220409 石黒麻衣子

高知工科大学 経済・マネジメント学群

### 研究背景

近年、洋菓子商品と比較して日本の伝統菓子（和菓子）の売上が低下している。実際に和菓子の一世帯当たりの品目別支出金額を調査した結果、和菓子全般の購入金額は洋菓子全般の購入金額と比較して低いことが分かった。また、販売価格の近い和菓子と洋菓子の支出金額を調査した結果、洋菓子の方が和菓子より支出金額が多く、その差も年々広がっていることが分かった。

### 研究目的

そこで本研究では、日本に於ける伝統菓子を対象として日本に於けるその歴史を調査することによってまずはその位置付けを明らかにしていく。更に、近隣諸国の韓菓や中国菓子と対照比較分析しその独自性を加味することによって、今後の和菓子の動向に対して一考察を与えることを目的とする。

### 調査・分析方法

文献研究を主とする。まずは関係する先行研究を調査し、その問題点を明らかにする。そしてその問題点を踏まえ、和菓子が我が国に於いてどの様に市場と関係を構築してきたかその歴史を分析する。それによって明らかになった和菓子の位置付けに対して近隣諸国の韓国と中国との伝統菓子の歴史と比較検討を行う。以上から将来の和菓子に関する仮説を立て、それを近年の和菓子の実績動向に照らし合わせて検証を行う。

### 分析結果

和菓子は積極的に海外の材料を取り入れて日本人の味覚に合うように進化したものであると判明した。そのことにより他国の伝統菓子にはない独自の特徴であることが分かった。従って今後も和菓子は進化し続けるものであると推察される。

### 考察・結論

以上の様な研究を通して本研究では次の様な成果を挙げたと考えられる。

先行研究とは異なり、市場との関係性という視点から調査した結果、和菓子は長い年月をかけて進化し将来性があることを明らかにすることが出来たと考えられる。また、和モダンスイーツの売れ行きより和菓子の需要が落ちているという現在の状態が続かず和菓子には未来があることを示唆することが出来た。